

雲の上のまち



た報

# ゆすばら



## ねんりんピックよさこい高知2013

梶原町総合庁舎前の様子  
(記事は4～5ページに掲載)

**2013**  
〈平成25年〉  
No.665

# 11

月号

- 世帯数 / 1,777 (10月初)  
1,773 (11月初)
- 人口 / 3,743 (10月初)  
3,739 (11月初)
- 出生… 1    ○死亡… 2
- 転入… 5    ○転出等… 8





秋晴れの中、1276名の選手が脱藩コースを駆け抜ける

榑原千百年物語り記念  
第3回龍馬脱藩マラソン大会

龍馬脱藩マラソン大会は、榑原町の歴史的遺産である龍馬脱藩の道を利用し、地域住民及び関係団体並びに行政機関が協働し、町の宣伝や地域の活性化につなげることを目的として、平成23年度より開催しています。

**前夜祭**

10月12日(土)、参加選手相互の交流が図れるよう、選手や家族、応援の方など100名とスタッフによる前夜祭が行われました。和やかな雰囲気の中、榑原学園こども神楽、榑原高校ダンスカパーによる津野山神楽、よさこい祭り実行委員会チーム榑原によるよさこい踊りがおこなわれ、参加者との交流を深めました。

**大会当日**

13日(日)、絶好のマラソン日和に恵まれ、1都1道2府26県から1276名(申し込み1502名)の参加をいただき、

盛大に第3回龍馬脱藩マラソン大会が開催されました。開会式は、役場駐車場で行われ、第3回龍馬脱藩マラソン大会中越一長実行委員長の開会宣言、名誉会長矢野富夫町長の歓迎あいさつに続き、友好交流協定を結んでいる西宮市副市長本井敏雄様、榑原町議会高橋基文議長様、衆議院議員中谷元様から祝辞と参加者への激励の言葉をいただきました。



中越一長実行委員長による開会宣言

最後に、選手宣誓は、榑原町から脱藩した坂本龍馬さんと同名で、現在、高知県観光コ

ンベンション協会スポーツ課長の坂本龍馬さんによりおこなわれました。坂本さんは、龍馬と土佐が大好きで1年前に東京からIターンで高知に来ています。開会式後、9時にフルマラソンの部が葦ヶ峠脱藩コースを指してスタートしました。続いて9時30分にハーフの部が下組折り返し、10時に10kmの部が宮野々折り返しのコースに向けて



ハーフマラソンのスタートの様子

各選手がスタートしていきました。汗ばむ程の陽気の中、選手にとっては暑いくらいの気温でしたが、おもしろいペースで榑原町の町を駆け抜けました。途中、各給水所では榑原学園、榑原高校の生徒さんによる声援が選手たちを温かく迎えました。町民広場(大越グラウンド)付近では、榑原高校生が手作りの横断幕で選手に激励の声援を送ってくれました。また、ゴール付近では、榑原高校生にメダル贈呈、選手写真のプレゼント、野球部によるハイタッチでの声援等、様々な形で応援と協力をしてくれました。

表彰式は、その都度おこなわれ、各部門3位までの選手にメダル、6位までの選手に賞状が授与されました。友好都市特別賞には、神戸市の松山秀典選手、榑原町の宮本友和選手が選ばれ、西宮市本井副市長から記念の楯が贈られました。

参加選手からアンケートをとった結果、「大会全体としてどうでしたか」88%のかたが「良い」「来年も参加しますか」65%のかたが「来年も参加します」「榑原の印象はいいかですか」94%のかたが「良い」という答えでした。



給水の様子 がんばってください!

各区長を中心に町内各種団体(榑原町商工会・津野山農業協同組合・榑原町森林組合・榑原消防団・榑原町婦人会・榑原龍馬会・榑原スポーツ推進委員会・榑原町体育会・榑原女性消防隊・役場OB会、榑原学園・榑原高校等)の多くのボランティアの協力のもと開催でき、また沿道や田畑から手を振りながら、温かい声援をいただいたことにより、大会が盛り上がり、参加選手から高評価を得たと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。選手の皆さんお疲れさまでした。

# 大会結果

各部門の優勝者は次の通りです。

## 「10kmの部」男子

●18～49歳

有光 浩 (四万十市)  
37分28秒

●50歳以上

西井 康 (高岡郡四万十町)  
43分33秒

## 「10km」女子

●18～49歳

大越 一恵 (香川県高松市)  
45分6秒

●50歳以上

岡本 陽子 (香美市)  
52分15秒

## 「ハーフマラソンの部」男子

●18～49歳

平井 達也 (高知市)  
1時間19分7秒

●50歳以上

永井 恒 (静岡県浜松市)  
1時間29分9秒

## 「ハーフマラソンの部」女子

●18～49歳

楠 真美 (愛媛県西予市)  
1時間32分25秒



ゴールの様子 おつかれさまでした!

●50歳以上  
大本 明子 (奈良県北葛城郡)  
1時間47分41秒

## 「フルマラソンの部」男子

●18～49歳

高橋 学 (愛媛県松山市)  
2時間42分36秒

●50歳以上

中沢 昭典 (南国市)  
3時間29分27秒

## 「フルマラソンの部」女子

●18～49歳

山賀 操 (福岡県糸島市)  
3時間26分39秒

●50歳以上  
篠本 典子 (神奈川県伊勢原市)  
4時間52分3秒

## アンケートからの自由記述

◇ボランティアの皆様も気持ちのよい対応で、キツイコースでしたが、とても楽しめました。ありがとうございました。

◇沿道の声援がとても温かかったです。

◇大変お世話になりました。ずっと続けていただけますよう、お願いします。

◇ゆすはらのおもてなし、参考にさせていただきます。

◇持高生の着ぐるみ、素敵でした。写真の無料配布も嬉しかったです。



# 天誅組義挙百五十年 顕彰記念大法要

友好姉妹町村を締結して  
おります奈良県東吉野村で、  
10月27日、東吉野村天誅組  
顕彰会(会長、中西崇智様)  
主催によります志士慰霊大  
法要が執り行われました。

東吉野村では、顕彰会や  
村当局の積極的な取り組み  
によりまして、天誅組拳兵  
に關係する方々の手厚い供  
養を連綿として行っていた  
だいており、百五十年の節  
目となる本年は、この大法  
要と併せて、天誅組サミッ  
トを計画(台風の接近で中  
止)されるなど、顕彰にと  
もに彼らの崇高な業績を全  
国へ発信する様々な取り組  
みを、関係市町村とともに  
進められております。

当日は素晴らしい秋晴れ  
の下、菩提寺の宝泉寺にお  
いて、百六十名余りの方々  
が参列され、厳肅且つ盛大  
に挙行されました。

天誅組に關係する、刈谷  
市、堺市、津野町からの参

列もいただき、祭文、追悼  
の言葉が述べられた後、焼  
香が行われました。

導師様からは、「歴史は、  
点ではなく、線でつながっ  
ている」というお話があり  
ました。

墓参、参列をさせていた  
だく中で、改めまして、時  
代の魁となったこの偉業の  
大きさを再認識するととも  
に、顕彰会をはじめとして  
東吉野村の皆様によりまし  
ご厚情に敬服する次第でし  
た。(久保教育長参列)



維新の門の天誅組像  
左から、前田繁馬、那須信吾、  
吉村虎太郎、中平龍之介





# 第26回全国健康福祉祭こうち大会 ねんりんピックよさこい高知2013

平成25年10月26日[土]～29日[火]

●●●● 長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流 ●●●●

## ねんりんピックよさこい高知2013マラソン交流大会開催



最高齢者賞受賞の2名

10月26日(土)～27日(日)の2日間、梶原町でねんりんピックよさこい高知2013マラソン交流大会が開催され、57都道府県・政令指定都市から約360名の選手が参加しました。また、バルセロナ五輪銅メダル、アトランタ五輪銅メダルなど様々な大会で輝かしい成績を残している有森裕子さんにもゲストランナーとして参加していただきました。

そして、10月27日(日)当初心配されていた天候も快晴。梶原学園音楽部による歓迎アトラクション、高知県選手団による選手宣誓でマラソン交流大会の幕が開きました。



歓迎アトラクションの様子

大会」に参加されたねんりんピック代表選手の中から最高齢者賞(男女各1名)、高齢者賞(男女各3名)の表彰を行いました。マラソン交流大会の最高齢者は男性、女性ともに87歳の方でした。式典後には、歓迎アトラクションとして、チームゆすはらによる「よさこい演舞」、神楽保存会による「山探し」「鯛釣り」が行われました。



開会式の様子



高知県選手団代表による選手宣誓



競技の様子

競技は10km、5km、3kmの3コースで行われ、有森裕子さんは5kmコースに参加し、選手の方々と交流していただきました。高知県選手団の皆さんも多くの方が入賞されており、一般の部で参加されていた梶原町の方々も見事入賞していました。



競技以外にも血圧測定、脳年齢測定、骨密度測定などの健康づくり教室やおもてなしコーナー、高知県柔道整復師会の接骨ケアブースと様々なイベントを同時に開催しました。



健康づくり教室の様子

閉会式では、矢野富夫町長から次期開催地・栃木県真岡市の内田龍雄副市長へ大会旗の引継ぎと内田副市長によるあいさつが行われ大会が閉幕しました。最後に大会当日、沿道での応援やボランティアスタッフとして運営の補助をしていただき、誠にありがとうございました。



栃木県真岡市へ大会旗引継ぎ



表彰式の様子

# チーム梶原 第60回よさこい祭りに参加

皆様の温かいご支援ご協力を賜り、第60回よさこい祭りに、11年連続の出場を果たす事が出来ました。

当日は、踊り子105名、スタッフ42名、総勢157名が梶原の名のもとに集いました。

今年、昨年の第59回よさこい祭りにおいて「審査員特別賞」の受賞を受けて、8月9日の前夜祭に出場。大橋通り踊り子隊の皆さんとのコラボレーション演舞を行う事が出来ました。

翌日10日から11日にかけて開催された本祭では、梶原のよさこい神楽を延べ15会場で披露いたしました。

炎天下の中で、沿道には多くの方がかけつけてくださり、中には梶原の鯛を振りながら温かい声援を送ってくださいる方もいらっしやいました。

11年前の初出場を思い起こしますと、よさこい祭り第50回という節目の記念すべき年でした。当時は、高知市内の地理にも不慣れで、移動するにも随分

と時間がかかり、また、踊り子もスタッフも初めて参加するメンバーがほとんどでした。

当時まだまだ小さかった踊り子さんもすっかり大きくなり、今ではチームのスタッフとして、踊りの指導をしてくれる頼もしい存在になりました。

「梶原の魅力をまずは町内に暮らす私たちが学び、掘り起こすことから始めよう。そして、梶原の宝を絶やすことなく受け



「地区競演場連合会地方車奨励賞」を受賞したチーム梶原の地方車





「継いでいきたい」との思いからスタートしたよさこい祭り参加も、改めて皆様との出会いに感謝し、そして梶原の大切さ、尊さを学ばせていただきました。



**スーパーよさこい  
4度目の出場**

8月24日から25日にかけて東京都で開催された、「原宿表参道元氣祭スーパーよさこい」に4度目の出場を果たしました。

東京までは、23日の夕方に梶原を出発し、バスで12時間の移動となりました。24日早朝に明治神宮に到着。明治神宮の杜の荘厳な空気にとっても感動いたしました。また、この杜が全国の青年団の労働奉仕により造営されたことを知り、勇壮な木々に、

先人の皆様の息吹を感じる事が出来ました。

2日間にかけて明治神宮周辺部の8会場で演舞を行いました。会場には、東京雲の上の会の皆様をはじめ、町出身の方々にも、応援にお越しいただきました。梶原から遠く離れた東京の地で、こうした皆様と交流さ



原宿口前舞台演舞



文化館前舞台演舞

せていただき、勇気と元気をいただきました。本当にありがとうございました。



神宮原宿口鳥居

**韓国フンタリョン  
祭りに参加**

10月4日から5日に、韓国天安市で開催されましたフンタリョン祭りに参加しました。

この祭りへの参加は、韓国湖西大学助教授の金居先生からお誘いいただき実現いたしました。

フンタリョン祭りは、ダンスでの地域振興を目的とし、高知



のよさこい祭りさながらに、町全体が演舞会場となり、熱気にあふれていました。世界各国から踊り子が集い、個性豊かな演舞がなされていきました。現地では、湖西大学の皆さんがチーム梶原の鯛をモチーフにした地方車を作り、熱烈に歓迎してくださいました。

梶原の踊り子は11人と人数こそ少なかったのですが、新潟県から参加された学生や現地の大学生と共に正調よさこいを踊り、また、鯛釣り行脚で梶原の魅力を全面にアピールしてまいりました。

最後になりましたが、よさこい祭りへの参加に際し、多大なご支援を頂きました皆様にご心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

そして踊り子、スタッフの皆さん、お疲れ様でした。

梶原町よさこい祭り  
実行委員会

広報10月号において、本記事を掲載するとのお知らせをしておりましたが、掲載が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。



# 平成25年度 高知県消防操法大会開催

## 梶原消防団第5分団 小型ポンプ操法の部で優勝!



『平成25年度高知県消防操法大会』が、10月13日(日)いの町の高知県消防学校グラウンドで開催されました。



大会は、「自動車ポンプの部」と「小型ポンプの部」があり、消防団員の技術の向上と士気の昂揚、ポンプ操作の速さと正確さを競うもので、2年に一度開催され、各地区で予選大会を勝ち抜いた各市町村の選り抜きの選

手が日頃の訓練の成果を競い合います。

梶原消防団は、高陵消防連合演習で小型ポンプ操法の部で優勝した梶原消防団第5分団が、準優勝した津野消防団と、自動車ポンプ操法の部で優勝した須崎消防団とともに高陵消防連合会の代表として出場しました。

梶原消防団は近年の県大会で、常に上位入賞を果たしており、前回の平成23年度大会では、梶原消防団第2分団が6位入賞を果たし敢闘賞を獲得しています。



今年度の大会に出場する梶原消防団第5分団は、平成17年度大会で優勝を果たし、2年後の19年度大会の2大会連続出場を果たして依頼、実に3大会目6年ぶりの出場となりました。

選手達は、17年度大会と同じ優勝を目指し週3回、仕事を終えた夕方から夜遅くまで練習を重ね、大会前には、いの町の高

知県消防学校の会場にも遠征し本大会にのぞみました。

梶原消防団第5分団の競技順番は、18番目中、16番目と長い待機時間にも臆することなく、競技開始から選手一丸となり、やり直しの効かない一発勝負に、今までの練習の成果を十二分に発揮し、一挙手一頭足の操法をおこない、小型ポンプ操法の部で、見事2度目となる優勝を果たしました。

2位は同じ高陵連合会代表の津野消防団が輝き、優勝、準優勝を高陵消防連合会の代表チームが獲得しました。

この結果、総合の部において

も準優勝を果たしています。

高知県の消防操法のレベルは全国的に高く、並みいる強豪を打ち破って県大会で優勝したことは町の誇りであり、選手および関係者のご努力に敬服します。

またこの優勝は、町民の方々のご声援と励ましのお言葉、そして操法要員のご家族のご協力なくしては成し得なかったと考えます。

今後におきましても梶原消防団員一丸となって頑張りますので、さらなるご支援をお願いします。



### 競技結果・選手紹介

#### 自動車ポンプ操法の部

- 優勝 仁淀川町
- 準優勝 高知市A
- 第三位 日高村
- 敢闘賞 須崎
- 敢闘賞 高知市B
- 敢闘賞 高幡四万十

#### 小型ポンプ操法の部

- 優勝 梶原
- 準優勝 津野
- 第三位 仁淀川町
- 敢闘賞 土佐市
- 敢闘賞 高知B
- 敢闘賞 佐川町

#### 第5分団選手氏名

- |     |    |    |    |
|-----|----|----|----|
| 指揮者 | 団員 | 片岡 | 晃一 |
| 1番員 | 団員 | 川上 | 政志 |
| 2番員 | 班長 | 隅田 | 雄策 |
| 3番員 | 団員 | 中越 | 芳彦 |
| 補助員 | 団員 | 森田 | 俊也 |

また、同大会において中土佐女性消防隊が東京で行われる第21回全国女性消防操法大会に出場する操法要員5名による軽可搬ポンプ操法披露が行われました。



# 新たな地域ビジネスを応援 〜 梶原人を元気にする補助金のご案内 〜

これまで梶原町は、市場からの距離が遠く、製品輸送や市場情報の収集に不利というハンデキヤップがありました。しかし、近年では、命の道の整備が進み、国道四四〇号地芳トンネルの開通、光ファイバー網の整備が進んでいます。

多様化、複雑化する社会的課題の解決には、きめ細やかさや早さが求められるようになっていきます。梶原の未来を考えるなかで、このような社会の動きにたいして、町では、積極的に梶原の農林業と第三次産業をリンクさせるなど、住民自らがビジネスの手法を取り入れ、これからの時代を生き抜くことのできる産業へと発展させる意欲と熱意をもって、取り組もうとする梶原人づくりが必要であると考えています。

そして、こうした梶原人の取り組みが広がっていくことにより、地域に根ざした新たな産業や雇用の場の創出がなされ、地域活性化に繋がることを期待しています。

## 1、目的

この補助金は、やる気のある事業者が、梶原町内で特産品開発や人材育成事業等のために実施する学習や研修・研究活動及び事業の開発等に対して支援することを目的としています

## 2、対象となる事業者の方は

梶原町内に住所を有する

○個人 ○区 ○部落

○団体 (ただし、町が運営に関して助成している団体を除きます)

## 3、補助の内容は

学習及び研修などの人材育成に繋がるソフト事業に対して、100万円を上限に補助金を交付します。ただし、ソフト事業と併せて行うハード事業(備品の整備等は補助対象となります)。

●ソフト事業：100%  
●ハード事業：60%

## 4、どんなことができるの？

### 参考例

◇既存の賞品を活用し新たにオリジナル商品(ロールケーキ、チーズケーキ等)の開発及び自

然食材をベースにした商品開発を行うための研修会を実施した。

◇有機農産物の生産及び販売の拡大、普及を行うため、学習会及び研修事業、モニターツアーを実施。また、ホームページを開設して新規顧客の開拓を行った。

◇みやげ物としての新たに商品開発を行うためのアドバイザーを招いて学習会の実施。また、併せて学生のインターンシップや田舎ぐらしを体験してみたい人たちを受け入れるための「研修ハウス」の整備を行った。

◇環境モデル都市として、町民の環境への意識向上を図るため、町内の未来を担う小中高生に太陽光パネルの作成を体験してもらおうイベントを開催。自然エネルギーの恩恵を享受し、将来の同エネルギーへの使用促進を促す取り組みを実施した。

◇産業振興に必要な能力を持った梶原人を育成するため、講師を招いての学習活動及び先進地視察を実施した。

などなど、様々な事業が考えられます。計画審査委員会では皆さんの前向きな意欲を審査しますので、皆様の応募をお待ちしております。

【お問い合わせ先】

梶原町企画財政課 企画・定住対策係

(電話651111)

# 国が支える・安心が大きくなる 担い手積立年金 (農業者年金)

豊かな老後生活のためには、国民年金だけでは不十分と言えます。農業者の皆さんも、メリットが沢山ある農業者年金に加入し、豊かな老後を迎えましょう。

## 《農業者年金の特徴》

① 農業に従事されている方は誰でも加入できます。

② 少子高齢化に強い年金です。

自ら積み立てた保険料と運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」です。

③ 保険料は自由に選べ、いつでも見直しできます。

自分が必要とする年金額の目標に向け保険料を自由に決められ(月額2万円(6万7千円)、いつでも見直しも可能です)。

④ 終身年金で、80才までの保証付きです。

仮に80歳までで亡くなられても、80歳までに受け取るはずだった農業者年金の額の現存価値に相当する額をご遺族に死亡一時金として支給します。

⑤ 税制面で大きな優遇措置があります。





# 浄化槽は正しく管理しましょう

本町においては、平成25年度から新しい梶原町浄化槽設置整備事業補助金の制度を施行しており、合併処理浄化槽の設置にあたり多くの皆様は制度を利用いただいております。

浄化槽は、微生物により汚水を処理しますので、微生物が活動しやすいように、維持管理を行うことが大切です。

適正な管理を怠ると、汚水の流出や悪臭で近所に大きな迷惑をかけるとともに、河川などの汚濁の原因となります。また、あまりにひどい場合は、罰則規定もあります。

浄化槽を使用している人（浄化槽管理者）は、保守点検・清掃を行い、法定検査を受けて適正な維持管理を行いましょ。

## ●保守点検

保守点検は、浄化槽の点検・補修や消毒剤の補給などを行います。（回数については浄化槽の種類によって異なりますが、概ね1年に3回くらいです。）

浄化槽の保守点検は専門的知識が必要ですので、県知事登録の浄化槽保守点検業者に保守点検を委託することができます。

登録業者 平成25年11月18日現在

◇梶原衛生 津野愛子

☎0889-651-1055

◇中越公衛社 中越貞幸（許可申請中）

※他町外15業者あり。

## ●清掃

清掃は、浄化槽内にたまった汚泥などを抜き取ったり、機器類の洗浄、掃除等を行います。浄化槽の清掃は毎年1回（浄化槽の種類によって異なります。）行うよう法律で定められています。

清掃は町長の許可を受けた浄化槽清掃業者が行いますので、許可業者に委託してください。

許可業者 平成25年11月18日現在

◇梶原衛生 津野愛子

☎0889-651-1055

◇中越公衛社 中越貞幸

☎090-5270-4731

◇（株）四国清掃工業（代）森国勇

☎0889-833-4128

◇東津野衛生社 代表 村田宗嗣

☎0889-621-2526

## ●保守点検

法定検査は使用方法が適正で、保守点検や清掃が法律の規定どおりに実施され、浄化槽の機能が正常に維持されている

か、放流水の水質は適正か等について検査を行います。法定検査は、設置後3〜5か月に1回実施する7条検査と、7条検査終了後1年に1回以上実施が義務付けられている11条検査があり、県の指定検査機関で受検するよう法律で定められています。

費用は、20人槽以下7条検査で、8000円、年1回の11条検査で5000円です。

指定検査機関 高知県の指定検査機関は、次のとおりです。

## ●し尿処理運搬

その他に、町内の浄化槽を設置していない家のし尿処理運搬を許可している業者は、次のとおりです。

◇一般財団法人高知県環境検査センター

☎0889-860-2400

## ●し尿処理運搬

許可業者（平成25年11月18日現在）

◇梶原衛生 津野愛子

☎0889-651-1055

◇中越公衛社 中越貞幸

☎090-5270-4731

【お問い合わせ】

梶原町役場環境整備課

☎0889-651-1251

# 素敵な出会いを応援

## エンジェルサポーターが始動します

本町では、これまでイベントの開催を通して、独身の方々の出会いをお手伝いする「であいきっかけ応援事業」をおこなってきましたが、新たな応援事業がスタートします。

町婦人会、商工会女性部からサポーターとして登録いただいたメンバーが発起人となり、結婚を真剣に考えている方々を、そっと後押しする活動をすすめていきます。

その名も『エンジェルサポーター』。

これまでのイベント中心の活動から、サポーターが個々のご縁をおつなぎし、出会いのきっかけづくりをさせていただきます。

「結婚を考えているけれど出会いがない…」という方はいらっしゃいませんか。

エンジェルサポーターのメンバーが素敵な出会いを応援します。結婚や出会いに関することで、聞きたいことや相談したいことがありましたら、エンジェルサポーターまでお気軽にお声掛けください。

また、役場企画財政課企画・定住対策係が事務局となっていますので、こちらもお気軽にご連絡ください。お待ちしております。



## エンジェルサポーター

〈リーダー〉西森福子 〈メンバー〉中山昭子、廣瀬妙子、上田知子、戸梶匠美

【事務局】

企画財政課 企画・定住対策係





工業統計キャラクター・コウちゃん

# 平成25年 工業統計調査を実施します

工業統計調査は我が国の工業の実態を明らかにすることを目的とした統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。

調査結果は中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

調査時点は 25 年 12 月 31 日です。

調査票へのご回答をお願いいたします。

経済産業省・高知県・梶原町



政府統計

耐震設計	
改正前	設計に掛かった費用上限30万円の2/3以内(補助金上限20万円)
改正後	設計に掛かった費用上限30万円の0.9(補助金上限27万円)

耐震改修	
改正前	耐震改修工事に掛かった費用の一部(補助金上限90万円)
改正後	耐震改修工事に掛かった費用の0.9(費用上限120万円・補助金上限108万円)

## 木造住宅耐震化 支援事業について

東日本大震災を教訓に、木造住宅の耐震化を促進しています。地震による家屋の倒壊から身を守るため、昭和56年5月31日以前に建てた木造住宅につきまして、耐震性を確認するために耐震診断を是非検討ください。(自己負担・3千円)

町では、耐震診断後の耐震設計・耐震改修費用に対して単独で支援枠を追加しました。ご自分の命・家族の命を守るために、積極的に活用ください。

【問合せ先】 総務課危機管理係

## 平成26年1月から、記帳・帳簿等の保存制度の対象者が拡大されます

個人の白色申告者のうち前々年分あるいは前年分の事業所得、不動産所得又は山林所得の金額の合計額が 300 万円を超える方に必要とされていた記帳と帳簿書類の保存が、平成 26 年 1 月からは、これらの所得を生ずべき業務を行う全ての方（所得税及び復興特別所得税の申告の必要がない方を含みます。）について必要となります。

記帳・帳簿等の保存制度や記帳の内容の詳細は、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) に掲載されていますので、ご覧ください。

詳しくは、最寄りの税務署にお問い合わせください。

## 林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせです。

林業の仕事をしていたことがありますか？

林退共制度に加入していたが、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

以前、林業の仕事をしていたが、ご自身が林退共へ加入していたか分からない方についてもお調べいたします。

また、被災された共済契約者及び被共済者の皆様に対し、各種手続（共済手帳の紛失、退職金の請求等）の必要が生じた場合は、できる限りの範囲において速やかに対応したいと考えておりますので、最寄の支部又は本部へお問い合わせ、ご相談下さいますようお願いいたします。



**お問合せ先** 独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部  
〒170-8055 東京都豊島区東池袋 1-24-1 ニッセイ池袋ビル  
電話 03-6731-2887 FAX03-6731-2890

※詳しくはホームページでもご案内しております。  
<http://www.rintaikyoo.taisyokukin.go.jp/>



# 栲原こども園だより

実りの秋。収穫の秋。発見！体験！の大好きな子ども達は、園外に出かけてドングリ拾いや、コロコロ木の実の制作などを楽しんでいます。栲原の自然を楽しみながら、体と頭を使い、色々な手伝いをさせてもらう事が子どもには大切な活動（栄養）ですね。

こども園では、すぐ隣の栲原高校との交流を大切にしています。春にはお茶摘みや田植えと一緒にさせてもらい、秋には稲刈りやお芋掘りをさせてもらいました。そして、高校生が家庭科「発達と保育」の授業で、班にわかれて年間7回子ども達と接してくれています。

## 体験学習に期待するもの

栲原町幼児教育アドバイザー  
日向國雄先生のつぶやき

小さな子どもと接すると、自分も子どもに返ったように感じると思います。初めは子どもと接しにくいと思いますが、人と接すること、子どもと接することの楽しさを感じてくれることが大切です。体験学習を通してどうすれば小さい子どもの気持ちが分かるようになるかを考えましょう。

子ども園はただ子どもを遊ばせているだけではなく、安全を保ちつつ、安心感や信頼感を育て、子どもの発達を促すという役割を持っています。また、幼稚園では、保育園（1～2歳）で培った発達をさらに高め、「生活する力」「人と関わる力」「学びの芽」を育て、小学校につなげていくという役割も持っています。そして、保育士や幼稚園の教員の仕事にはどんな内容があるのかも体験学習を通して理解していければいいと思います。

栲原こども園では、世代間交流といった『縦のつながり』、また、乳児や幼児が『地域の中で育つ』ということを大切にしています。様々な世代の人たちが地域の中で触れ合うことを大切にしたいと思うからです。こども園での体験学習は良い機会だと思います。

将来、父親や母親になっていく若い人たちが、この時期の小さい子どもたちと関わりを持つことの意味はとても大きいものがあります。それは父親や母親になった時、きっとこの経験が思い出されるでしょう。“一生懸命に育とう”としている子どもの姿や笑顔を思い出し、自分の子どもを見つめる事が出来ると思います。



高校生のお姉ちゃん  
と鬼ごっこで  
汗かいたね(^^)

東京雲の上の会の方々  
と交流。パンダとうさぎも  
来てくれていたよ

鎌を使っての稲刈り  
だよ。新米でおにぎり  
パーティーしようね。



# 梶原学園だより

第25号

## 梶原町教育委員会指定 小中一貫教育研究発表会

10月18日（金）に町内外から50名の先生方とご来賓の皆様においでいただき、研究発表会を開催しました。講師に文教大学

教育学部准教授（元文部科学省教科調査官）永田潤一郎先生をお招きし「基礎学力の定着と学力の向上をめざした学習指導方法の改善」とくに、言語活動を重視した授業づくりについてご指導いただき、これからの取り組みを更に充実させ、児童生徒の学力向上につなげようと開催しました。



文教大学教育学部 永田先生 講演

公開授業と研究授業に続き、小学校の算数に中学校の数学の先生が教える乗り入れ授業など本校の小中一貫教育の3年間の取り組みについて研究の成果を発表しました。

その後の永田先生の講演では「なぜ今、言語活動が重視されるのか？」について考えることができました。子どもたちに自ら学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力を養い、育てていくためには他者とのかわりを通して自らの成長を感じることが大切であるということです。コミュニケーション（対話）の重要性を学ぶことができました。



5年生 国語

県内外の先生方や来賓の方々「梶原学園の子どもたちは発展的な考えができています」「教職員が一丸となって教育実践に取り組んでいる。更に高みを持って取り組んで欲しい」という声をいただきました。私たち教職員はこの研究発表会で指導いただいたことを受け止め、更に研究を深め、児童・生徒の知・徳・体・食の育成に努めていきます。

当日はPTA本部役員の方々が授業参観、PTA企画部の駐車場案内など保護者の方々にはご理解とご協力をいただきありがとうございました。

## 千枚田で米の収穫

6年生が、「総合的な学習の時間」に、神在居の新谷さんご夫婦にお世話になり米づくりを体験させていただいています。6年生は「再発見！自然を生かしたくらし」をテーマに、棚田での米づくりから先人の知恵と生き方を学んでいます。



千枚田の田んぼ一つ一つに梶原町の先人の努力の跡がうかがわれます。石を積み、水を引き、耕し、苗を植え、草をとり、稲を育て、稲を刈り、稲木へ架け、脱穀し、籾をする。毎年こういう営みをくり返し、次世代にゆづって行く。ただ米づくりのみを体験するだけでなく、歴史やそこに住む人々の想いや生き方に思いをはせることができる学習であってほしいと願っています。

## 中学校駅伝大会

高吾地区中学校駅伝大会が、10月26日（土）いの町の仁淀川堤防周回コースで行われ、梶原学園からは、男子チームが参加し、6区間（各3km）18kmを16



チームで競いあいました。各部活動から選出された梶原中学校駅伝チームは、  
1区 中岡響平くん（9年生）  
2区 中越健人くん（7年生）  
3区 吉村 輪くん（8年生）  
4区 中越式千弥くん（7年生）  
5区 伊藤 嶺くん（9年生）  
6区 松本直希くん（8年生）  
のメンバーで臨み、タスキに思いを込め懸命に走りました。残念ながら高知県大会の出場はなりませんでしたが、下級生にとつては貴重な経験となりました。来年度の県大会出場を目指して継続した努力を期待します。応援に来てくださった保護者の方々、どうもありがとうございました。



# 梶原高校通信

## 梶原人の伝統的な生活について

今回は7月・8月のことについてのお話です。

昭和15年の7月は神武天皇が即位されてから2600年が経ったことを祝う紀元2600年記念行事がありました。この日を祝うために子どもたちは学校で旗を作ります。半紙に日の丸を書き、それを竹に貼り付けた簡単な旗です。紀元2600年では講堂で式典をした後、大人も子どももみんな一緒にその旗を振って町中をねり歩いてたそうです。歩いているときに紀元2600年の行進風の唱歌を歌っていました。このような歌だったそうです。

「金鷄(きんし) 輝く 日本の栄(はえ) ある光 身にうけていまこそ祝え この朝(あした) 紀元は二千六百年あゝ 一億の胸はなる」

3番までこの歌はあり、伊藤さんたち子どもは、皆と一緒に歌を歌い町の人たちと一体感を味わったことが、とても楽しい思い出であったとおっしゃっていました。

ました。

8月1日には八朔(はっさく)という行事がありました。これは8月1日を意味する八月朔日(さくじつ)の略で八朔という行事になったそうです。このころには、早稲の穂が実るので、全国的に農民の間で初穂を恩人などに贈る風習が古くからありました。このことから、八朔の日を田の実際の節句ともいいます。この「たのみ」を「頼み」にかけ、武家や公家の間でも、日頃お世話になっている(頼み合っている)人に、その恩を感謝するということが行われていたそうです。

梶原では、この日はお嫁に行った女性が普段は帰ることのできない実家へ帰ることのできる日でした。お嫁さんに感謝する日であったのだと思います。お嫁さんは実家では何をされるわけもなく、ただ日頃の疲れを家族とともに癒していたのだそうです。伊藤さんも、太郎川の嫁ぎ先から津野町の実家まで8月

1日には帰っていたということですね。高野の峠あたりまで旦那さんに自転車に乗せていってもいい、そこからは歩いて実家に帰りました。当時は高価であった自転車を途中で壊してしまつた年があり、その時は実家に帰っても休んだ気がせず、自転車をどうしようかと不安でいっぱいだったそうです。

8月13日から16日は今と同じようにお盆でした。13日には迎え火といつて、ご先祖様をお迎えするために夕方になると火を焚いていました。家からお墓へ向かう途中に青竹の葉をとつたものを置き、その竹の筒の中に松の木を細かく切つた松明を入れて燃やし火が高くなるように燃やしていました。その下には細く丈の低い苦竹をご先祖様の数だけ置き、そこには1本だけ松の木のたいまつを置いていました。初盆の家では、3段ある木の板に108本のろうそくに火をつけてたものを置き、庭先に並べていました。神道なら神主さん、

仏教ならお坊さんをお呼びしてお祭りをし、お団子をお供えたそうです。各家庭によつて違いがありますが、16日から20日頃にはご先祖様を送り出す送り火を夕方に集めます。迎え火に使つた竹を集めて燃やしていました。パチパチという竹の燃えている音が大きければ大きいほどその年は豊作だと言われていたそうです。このお盆の時期には、離れて暮らす家族たちも田舎に帰つてきて、楽しく過ごしますが、それが終わるとまたいつもの生活が始まります。そこで、伊藤さんの一句。

### 「ひとくれの石につまづく 盆疲れ」

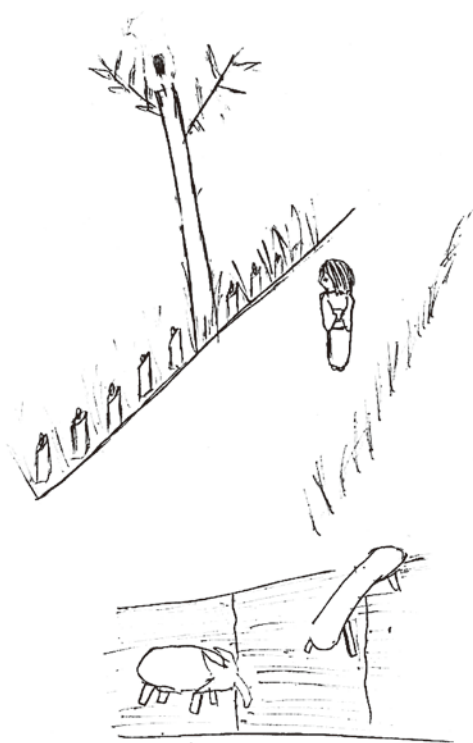
この頃、小学生だった伊藤さんは、小学校での勉強についても説明してくれました。勉強用

のノートはこの当時にはありません。紙はわら半紙という藁でできた裏面がざらざらする紙があったらしい方で、勉強をするための教材などはほとんどありませんでした。今のように個人が教材を持つなどということもありません。鉛筆も学校にあつた小さな売店で、鉛筆の芯だけが販売されていたそうです。その芯をサトウキビに似た「たかきび」という植物の茎に差して使います。芯が抜けてしまわないように、茎の細いのを選んで使つていましたが、植物の茎なので芯はぐらぐらするし、きれいに字を書くということが難しかったそうです。

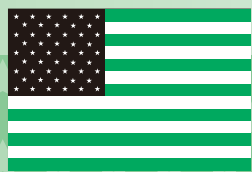
インタビュー・文 西森七菜

佐伯志保

絵 西森早梨







栲原学園ALTだより

# ステファニーのコーナー



## 生野菜と果物の健康効果

日本に滞在している外国人なら誰でも一度や二度、ブドウをまるごと食べているところや生野菜を食べているところを、日本人に凝視されていることにショックを受けたり、当惑した経験があります。なぜ西洋の人々は、このような野蛮な方法で農作物を食べるのでしょうか？一つには、出身地の文化的な習慣もありますが、加えて、これらの食習慣は、一般的に健康に良いと科学的に証明されています。

まずは、ブドウの話から始めましょう。私自身は、ブドウまるごと、皮も種も全部食べます。私が学校の給食でブドウを食べる時、生徒達は一部始終を眺めていることがあります。アメリカでは、皮も種も日本のものほど酸味がありません。とてもおいしくて一口サイズのブドウを食べる時にいちいち分解するのが面倒なのです。

それに、果物の皮は、科学的にも果実そのものよりも体に良いとされています。ブドウは、それらの果物の一つであり、同じようにブルーベリー、プラム、グアバ、キンカン、リンゴなどたくさんあります。皮を食べるという健康上の利点は、抗酸化物質と繊維質の含有量を増やすことです。抗酸化物質は、体内酸化の進行を緩やかにします。もし体内に酸化物質がたくさんあると、ガンや血栓症、高山病などいろいろな病気の原因となります。

ブドウのような濃い色の果物に含まれる生の抗酸化物質を食べることほど、抗酸化物質のサプリメントには効果はありません。リンゴの皮のようにブドウの皮に含まれる繊維質はかさもあり、消化に時間がかかるため、満腹感も得られ、消化器官をきれいにしてくれます。食物繊維としてよく知られているこの繊維質は、果物の柔らかい実の部分にはあまり含まれていません。

特にブドウの皮は、他の果物に比べ、コレステロールを下げる効果があります。オレンジのように皮の部分が無害で必ずしも食べない場合でも、まるごと絞るとビタミン含有量を莫大に増加させるし、皮にはビタミンやフルーツ色素や油分も豊富です。

外国人としての経験から言うと、生野菜の中でも特に生のブロッコリーを食べると、日本人は目を見張ります。私は、日本の料理で、生サラダとは対照的に調理した葉物野菜をしょっちゅういただきます。生か火を通したものか、どちらかを選ぶとしたら、生を選びます。生の植物系の食べ物にはバイオフィトンが豊富です。バイオフィトンとは、あなたの体内にもある生物によって使われ、蓄えられて最も小さい光の物理単位です。生命を維持するのに必要な太陽エネルギーはあなたが食べるものを介して細胞へ運ばれます。葉物野菜を調理すると、これらのバイオフィトンは酵素と同じように壊されてしまいます。

ブロッコリーの話に戻りますが、生のブロッコリーを食べると、肝臓の発ガン性物質を解毒する作用を持つミロシナーゼという酵素が細胞壁を破壊し、体内へ摂取することができます。調理してしまうとそうはいきません。ゆでたブロッコリーを食べる人たちは、これらの抗ガン作用を持つ酵素の3分の1しか摂取できません。

このように生の食べ物には無数の恩恵があります。興味のわいた方はインターネットでいろいろ調べてみてください。あなたの食べ方や食べ物への見方が変わるかもしれません。

# けんこうふれあいコーナー

## 冬場に流行する感染症に注意をしましょう

寒くなってくると、インフルエンザやノロウイルスをはじめとする感染症にかかりやすくなります。自分でできる対策を知って日ごろから予防しましょう。

### インフルエンザについて

一般的に、風邪は様々なウイルスによって起こりますが、普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身の症状が突然現れます。併せてふつうの風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。子どもでは急性脳炎を、高齢者や免疫力の低下をしている方では肺炎を伴う等、重症になることがあります。

### ●インフルエンザはいつ流行するの？

インフルエンザには流行性が

あり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月〜3月頃に流行します。

### ●無理はしないで早めの受診を

38℃以上の発熱が続くようでしたら、無理はしないで早めの受診をしてください。

### ●インフルエンザを防ぐためのポイント

#### ①流行前のワクチン接種

ワクチンは感染後に発病する可能性を低減させる効果と、インフルエンザにかかった時の重症化防止に有効とされています。

梶原町では町内の感染拡大防止として自己負担200円で接種ができます。まだ接種をされていない方はこの機会に接種を。詳しくは10月の部落行きで配布しました日程表をご覧ください。

#### ②外出後の手洗い、うがいをしっかりと

感染症予防のための正しい手洗い方法としては、石鹸を泡立

てから、手指と手首を30秒程度かけて洗うと効果的と言われています。

また、手指をしっかりと拭いた後に手指用アルコールの使用も効果的です。

#### ③咳エチケットに気を付けて

インフルエンザ菌は咳やくしゃみによる飛沫感染をします。飛沫を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。

咳やくしゃみが出始めたら、周りの方へうつさないためにも、マスクの着用をしましょう。予防のためのマスクの着用も有効です。

#### ④適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では、加湿器などを使って適切な湿度を保つことも効果的です。

#### ⑤十分な栄養とバランスのとれた栄養を

身体の抵抗力を高めるために、十分な栄養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心が

けましょう。  
⑥人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特に高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、疲労気味の方は人混みや繁華街への外出を控えましょう。

### ノロウイルスについて

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、手指や食品などを介して経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもや高齢者では重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。ノロウイルスについてはワクチンがなく、また治療は輸液などの対症療法に限られます。

### ●どうやって感染するの？

感染のほとんどが経口感染です。

①汚染された二枚貝を生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合

②食品取扱者が感染していてその人を介して汚染した食品を食べた場合

③患者のふん便や吐物から人の

手などを介して二次感染した場合

④ヒト同士の接触する機会が多いところでヒトからヒトへの飛沫感染や直接感染する場合などが挙げられます。

### ●ノロウイルスを防ぐためのポイント

①食中毒予防のためにも中心部までしっかりと加熱調理をする。

中心部が85℃以上、1分以上の加熱でウイルスは死んでしまふとされています。十分な加熱を心がけましょう。

②手洗いをしっかりと行う

③調理器具等の殺菌  
ノロウイルスには次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤）による殺菌、加熱殺菌が効果的です。菌の繁殖しやすいまな板や包丁は定期的に殺菌しましょう。

まずは日ごろの予防が重要です。自分のできるところから始めましょう。





# 12月の保健福祉支援センター行事予定

- 2日(月) げらげら家族会  
(認知症を介護する家族の会:総合福祉センター)
- 5日(木) インフルエンザ予防接種・人権相談
- 6日(金) 松原サテライトデイ
- 10日(火) 愛育相談・初瀬区いきいきふれあい広場  
いきいき百歳ころばん塾(第3回)  
(高齢者合宿施設はつせ)
- 12日(木) インフルエンザ予防接種  
越知面デイサービス友の会
- 13日(金) 西区合同いきいきふれあい広場  
いきいき百歳ころばん塾(第3回)  
(西の川高齢者合宿施設)・四万川宅老所
- 15日(日) まごころ弁当
- 18日(水) あゆみの会・予防接種(下記参照)
- 19日(木) 四万川いきいき百歳ころばん塾(第4回)
- 20日(金) 東区いきいきふれあい広場・献血
- 24日(火) 越知面いきいき百歳ころばん塾(第4回)
- 25日(水) 予防接種(下記参照)
- 26日(木) インフルエンザ予防接種  
松原いきいき百歳ころばん塾(第4回)

※毎週水曜日…●予防接種日：不活化ポリオ、三種混合、四種混合、麻疹・風疹、BCG、  
日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン  
●陽だまり、育児サークル

※ゆすっ子相談センター相談日…2日(月)、9日(月)、17日(火)、24日(火)

## 12月の行事予定

- 1日(日) 町長選挙
- 5日(木) 人権相談・行政相談
- 14日(土) 環境整備デイ
- 18日(水) 梶原学園校内マラソン大会
- 20日(金) 梶原町交通安全の日 / 献血
- 25日(水) 梶原学園2学期終業式
- 26日(木) 小動物収集
- 27日(金) 消防団年末警戒パトロール(30日まで)

また日々変化しますので、今回献血前の検査の結果、献血にご協力いただけなかった方も、次には献血できる事もありますので何度でもチャレンジして下さい。

次回の献血は、**12月20日(金) 9時～13時**を予定しています。どうぞ宜しくお願い致します。



献血バスでの献血風景

平成25年8月13日の献血実績

受付者数	56名
内、400ml献血者数	45名



平成25年度の第二回目の献血を、  
さる8月13日(火) 9時から13時の  
受付で、未来館前にて実施いたしました。

献血をよろしく  
お願いします。



お問合せ 保健福祉支援センター  
☎65-1170(担当/上田)

# 文芸

## えぼし俳句会

急用を拒む術なく夜寒かな  
瀬戸口登貴恵

茸狩り量はなけれど良き一日  
西村 智子

古稀にまで辿りつきたる日向ほこ  
千光寺昭子

山座る一戸一灯に夜寒来る  
山内 恵美

金木犀香れば季節うたがわす  
岩元 芙美

木犀の香り座敷に招く朝  
古野 節子

大蛮像露に光りて神楽道  
下村 弘花

用足しの母の杖音夜寒かな  
下元 澄子

久々の山の土踏む茸狩り  
ヒネ・バンビ

風の音聞いて高原蕎麦の花  
宇都宮由利子

つきそうでつかぬ折合いそぞろ寒  
宮崎真由子

一つ灯に家族寄り合ふ神無月  
前田 茂子

苦瓜の熟れて真紅を溢しけり  
中越 律子

木犀の大樹香の降る花の降る  
岩井 章子

## 柚子の木俳句会

紅白の旗振り分けて秋日和  
鎌倉 安弘

藤の実の揃って揺れて飛行雲  
広瀬 宗子

ランナーにかくも険しき萩の花  
広瀬 みえ

天高しお餅をかるい初歩き  
佐竹 重子

稲木する母の背中のみたましき  
西森 誠子

一年の苦勞忘れて秋まつり  
中平 忠雄

青空におなばれくつきり秋祭  
中越 緑

帰郷した男祭りの太鼓打つ  
中越 郁子

芋虫の切り絵師の如揺れており  
渡辺 瑞枝

秋めくや呼ばれるを待つ間の長し  
西村由利子

杉の子俳句会

秋日和置き葉屋の長話  
下元 廣幸

能登棚田稲穂の波は海に落つ  
山口 立野

何事も無かつたように秋の川  
小崎みなと

青ゆずや脱藩マラソン待つ関所  
西村 蓉子

黄金の稲穂を乗せて千枚田  
野中案山子

乱れ咲く野菊の復路駆け抜ける

内野 純子

草紅葉千人駆けるつづら折り

西村 幸枝

前掛けを袋代りに栗拾ふ

氏原 陽子

田の神を家に迎えて秋社日

久光 義恵

松茸に出合い願って山眺む

吉村 招山

三匹の秋の金魚に水を足す

徳永 逸夫

稲穂なく浪江の町の放ち牛

影浦 鉄心

鏡には写らぬ痛み秋の暮

久岡 智子

## 託老所「陽だまり」

母の顔 時には仏

時には赤子（赤ちゃん）

紅葉に 登れし喜寿の 剣山

長電話 「ガスに注意」と

受話器に

## 寄付お礼

このほど、次の方々から寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告を申し上げます。

## その他のご寄付

立道 良男 様 上成  
故・立道正志氏香典返しとして高齢者福祉へ

森山 正行 様 上成  
故・森山玉代氏香典返しとして社会福祉へ

## 広報へのご寄付

安田 文明 様 佐川町中組

## おめでたとかなしみ

### 出生

住所	出生者氏名	性別	出生年月日	保護者氏名
茶や谷	関川 龍海 <small>たつみ</small>	男	H25. 10. 2	関川 洋平

### 死亡

住所	死亡者氏名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
広野	笹岡 郷美	女	H25. 9. 30	103	本人
永野	又川きよこ	女	H25. 10. 27	84	本人

### 婚姻

住所	花婿・花嫁	婚姻日
六丁川西路	森山 裕貴 廣瀬 成美	H25. 10. 31



# 全国学校給食甲子園<sup>®</sup>に出場

## 中国・四国ブロックの代表に選ばれました！

梶原町学校給食梶原共同調理場で取り組んでいる地場産物の活用も、着実に進んできており、これまで使用してきた野菜やきじ肉、牛肉などに加え、本年度は、あめごやDa'Pan屋さんのデザートなどを取り入れています。使用している食品は約40品目近くにまで増え、平成21年度の活用率(重量ベース)17%から平成25年度9月末までの活用率27%と10%増やすことができています。

毎月19日の食育の日には、生産者の方にお越しいただき、お話を伺った後、いっしょに給食を食べていただいたり、日々の給食では食事前に今日の生産者の方のお名前やお話をしてからいただきます。

このような取り組みと、梶原町の特色ある給食の献立を、第8回全国学校給食甲子園に応募していたところ、1次審査、2次審査を通過し、全国2270校(施設)の中の70校に選ばれました。さらに、3次審査を通過して中国・四国ブロック代表になり、24校に選ばれました。しかし、残念ながら4次審査は通過できず、決勝12校に残ることはできませんでした。



### 応募した給食献立 ※( )内は梶原産

- きじピラフ (きじ肉、きじスープ、挽ききじ、干し大根、ごぼう)
- あめごのゆずマリネ (あめご、ゆのす、人参、玉葱、トマト)
- 花にらのかみかみ和え (花にら、ぜんまい)
- ヨーグルト キウイ添え (キウイ)
- 牛乳

中国・四国ブロック代表の表彰状をいただきましたが、これは生産者の皆様をはじめとする梶原町の学校給食関係者全員にいただいたものです。日頃のご協力に心より感謝申し上げます。

このメニューに使用されていない食材にもすばらしい品質のものがたくさんありますので、今後も創意工夫をしながら、子どもたちに喜ばれる「梶原の魅力あふれる給食」づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



春のメニュー



生産者のお話を聞きます



秋のメニュー

## 編集後記

今年もお宮の杜からお神楽の太鼓の音が響いてきます。この音を聞くことと決まって子どもの頃赤い袴を着けて「はりばいせ」の行列に参加したことや出店を興味深く覗いたことが思い出されます。

人はよく見たり、聞いたり、触ったり、嗅いだり、味わったりという五感で感じ取ったことは記憶の奥底にいつまでも残っているものです。

私は、金木犀の甘い香りが漂ってくると思わず運動会を思い出します。青く育った稲に吹く風を頬に感じると、夏休みに県外に住む祖父の家を訪れた時の田んぼのあぜ道を親子4人で歩いたことが思い出されます。

特に子どもたちのころに五感で感じ取ったことというのは、成長をしていく上でもとても大切なことになると思います。美しいものは美しいと感じる心、季節の移ろいを感じ取れる心は大事に育ててあげたいものです。

故郷を思い出したり、故郷を大切に思う心は、五感で感じ取った思い出が多いほど大きいと思います。

もうすぐ梶原の里にも冷たい風が吹き、白い雪景色が広がります。

広報編集委員会